

## 令和7年度 第2回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会 会議録概要

### 1. 日時

令和8年3月11日(水) 午後2時00分から午後3時30分

### 2. 場所

くるべ古代歴史館 研修室

### 3. 出席者(順不同・敬称略)

#### 【委員】

小澤 毅委員長、中村 雄一委員、伊藤 鈴子委員、阪 早苗委員

(欠席：酒井 智子委員)

#### 【事務局】

四日市市シティプロモーション部文化課

中野 千幸(課長)、葛山 拓也(副参事兼課長補佐)、清水 政宏(文化財グループリーダー)、

大原 涼子(くるべ古代歴史館)、永田 智子

### 4. 傍聴者

なし

### 5. 会議録(要旨)

#### (1)開会

東日本大震災により犠牲になられた方々に哀悼の意を表するための黙とうを実施 全員

あいさつ(略) シティプロモーション部文化課長 中野 千幸

#### (2)報告事項 令和7年度事業について

委員 長：報告事項 令和7年度事業について事務局から説明をお願いしたい。

**事務局：(令和7年度事業について、事務局より説明)**

委員 長：ただ今の説明に関して、質問や意見がありましたら頂戴したい。

委員：富洲原中学校が研究授業の一環として久留倍官衙遺跡公園を活用したということだが、生徒の感想はいかがか。

事務局：担当教員から「地元の歴史を知ることができた。」「奈良時代についての理解が進んだ。」といった声を聞いている。

これは東海地区全体の社会科研究授業の一環であり、今回は各学校の教員が富洲原

中学校を訪れて授業を見学した。富洲原中学校の社会科の教員が、久留倍官衙遺跡公園を活用した授業を提案し進めてくださったのありがたい。

委員：イエローカード作戦を実施しているとのことだが、以前から犬のフンが多かったのか。

事務局：特に最近増えてきたという印象がある。

委員：大矢知興譲小学校の校庭にも最近犬のフンが放置されているという話を聞いた。バイクについては、公園内に侵入したのか。

事務局：たばこの吸殻がまとまって見つかったため防犯カメラで確認したところ、閉園後にバイク数台が東入口から侵入し、園路を走ったようだ。この件を受けて「防犯カメラ設置中」の貼紙をし、それ以降の侵入はない。

委員長：ペットの問題は飼い主のマナー向上に期待するしかない部分もある。イエローカード作戦の効果がみられるということで、大変だとは思いますが続けていただき、経過を観察してほしい。

### (3) 協議事項

#### (3) — 1. 令和7年度事業の評価について

委員長：協議事項 令和7年度事業の評価について事務局から説明をお願いしたい。

事務局：**(令和7年度事業の評価について、事務局より説明)**

委員長：事業評価の内容はどこに発信しているのか、どこかに掲載しているのか。また、単年度ごとに公開しているのか、過去のものから全てを公開しているのか。

事務局：久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会を立ち上げた初年度の開催分からこれまでの、議事録を含めた全ての資料を、ホームページで公開している。

委員長：遺跡説明動画が不慮の事故で公開できないとのことだが、消失したのか。

事務局：遺跡説明動画の制作を委託していた方が急死され、現在公開ができない状況である。撮影した映像のデータは入手しているため、今後編集することは可能である。

委員長：承知した。

他に質問や意見がありましたら頂戴したい。

委員：魅力発信については、小中学校に限らず、各自治会の活動、熟年大学、高校などへも情報発信を行ってはいかがか。特に四日市農芸高校と連携して、万葉植物の管理や手入れができるとういのではないか。

事務局：四日市市では市民のみなさんどなたでもご参加いただける市民大学があり、毎年4コースほど設定している。また、60歳以上を対象とした熟年大学は毎年久留倍官衙遺跡公園に見学に来ていただいている。これらとの連携をもっと図っていければというご指摘だと感じた。

委員 長：市民大学や熟年大学で久留倍官衙遺跡に関する公開講座ができれば、久留倍官衙遺跡の評価につながると思う。

委員：Instagram と X のフォロワーが増えたとはいえ、300 人程度ではやはり少ない。ホームページに掲載するのも、回覧板を回すのも、それを見てもらうことが難しいと感じる。ホームページや SNS にどのような情報を載せているのか、周知する必要がある。

例えば、チラシやホームページでイベントのお知らせをする際に、Instagram や X でも情報を発信していることを掲載しているか。

事務局：ホームページに Instagram と X のリンクを貼るよう試みしたが、うまくできなかった。ホームページは、ここを見れば何か情報を得られるという感覚で見られている実感がある一方、イベントでアンケートを取ると、市の広報を見て情報を知ったと回答する人が一番多い。また、3月に予定しているイベントの広報のため、初めて市の LINE 広報を利用したら、とても手ごたえがあった。

SNS、ホームページ、LINE 広報などいくつかのツールを組み合わせうまく情報を伝えるようにしていかなければいけない。

市の広報でも、ホームページの 2 次元コードを掲載して詳細な情報が得られるように工夫している。

また、何より職員自身に、様々なメディアを利用して積極的に情報を発信していくという気持ちを醸成していかなければならないと感じている。

委員 長：事務局も試行錯誤しながら取り組んでいることが分かった。委員の提言に沿ってさらにフォロワーを増やせるように進めてほしい。

くるべ×芸能大会 合同祭の参加人数について、当日の天候による支障はなかったようで、やはり、申込み不要で参加できる体験イベントにメインとなるものがなかったことが大きな理由であろうと思う。申込み不要で参加できるイベントは参加者にとってありがたく、参加人数を増やすことにつながるため、次回はこの点を工夫していただきたい。

また、来館者数について、今年度は目標をやや下回るという報告であった。令和 8 年度は国指定 20 周年の節目でもあるため、来館者数増を目指して取り組んでもらいたい。

委員：委員の発言にあったように、ホームページに Instagram と X のリンクが貼られているほうがよい。

鈴鹿市考古博物館によく訪れている知り合いが、久留倍官衙遺跡のことを知らないと言っていた。鈴鹿市考古博物館で久留倍官衙遺跡のことを知ることはできないの

か。

事務局：久留倍官衙遺跡公園のパンフレットやイベントのチラシなどは毎回送付しており、企画展においては、鈴鹿市考古博物館所蔵の遺物を展示することや、こちらの遺物を貸し出して展示していただくこともある。今後もしっかり連携を図っていきたいと考えている。

委員長：市町の間垣根を取り払い交流できるよう、ご協力いただきたい。

### (3) 一 2. 令和8年度事業の計画について

委員長：協議事項 令和8年度事業の計画について事務局から説明をお願いしたい。

**事務局：(令和8年度事業の計画について、事務局より説明)**

委員長：ただ今の説明に関して、質問や意見がありましたら頂戴したい。

委員：写生大会について、写生期間に描いた絵はくるべ古代歴史館に提出していただくのか。

事務局：はい、くるべ古代歴史館に持参してもらい、展示開始まで保管する。

委員：一番票を集めた絵のみホームページのギャラリーで紹介するのではなく、描いていただいた絵すべてを紹介してはいかがか。そのほうがより多くの方に見ていただく機会を提供できる。

委員長：その通りだと思う。参加者も、ホームページで自分の描いた絵が紹介されていると楽しいだろう。すべての絵を紹介した上で、多くの票を集めた絵が分かるようにしてはどうか。最も効果的で多くの人に喜んでいただける開催方法を検討いただきたい。

委員：写生大会はどれくらいの人に参加していただければそうか。

事務局：八つ切り画用紙に描いて、くるべ古代歴史館 研修室の壁が埋まるくらい、60名程度ご参加いただければと考えている。また、久留倍官衙遺跡と分かるものを対象に描いてほしい。

委員：年齢制限がないのであれば、一般の部、小中学生の部、小学生未満の部に分けて投票してもらったほうがよい。さらに、写生だけでなくカメラ部門を設ければ、より幅広く周知できるのではないか。

委員：昨年俳句会の団体が110人ほど久留倍官衙遺跡公園に来て、そこで詠んだ俳句が掲載された冊子が発行された。写生、写真、俳句、短歌、詩といろいろな作品を発表できる場であってもよいと思う。上位の作品には賞品を用意することで、それを楽しみに子どもたちが参加してくれる。

委員長：予算や時間の問題もあるだろうが、多くの方が参加して喜んでもらえる企画を練り上げてほしい。

- 委員：七夕イベントは木簡に願いごとを書いて笹の葉に飾ってもらうのだが、それだけで終わらずに、観月会や星の観察、古代衣装を着て俳句を詠むなど、ボランティアも含めてみんなでイベントを作り上げられればよいと思う。
- 委員長：職員の人数に限られる中ではあるが、可能な範囲で来館者を増やす工夫をしてほしい。
- シンポジウムについては、テーマを決めることと登壇者への依頼は早めにする。当日までの期間が短いのは失礼に当たるため、早めに進めてほしい。
- 事務局：承知した。
- 委員：トンネル絵画については、どんなものができるのか、楽しみにしたい。
- 事務局：来年度の第2回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会では、実際に見ていただきたいと思う。
- 委員：記念クリアファイルは、来年度に万が一残った場合でも、次のイベント時に配布できるようなデザインにしたほうがよい。
- 委員：写生大会の中で、いつ記念クリアファイルを渡すのか。
- 事務局：展示・投票期間が終わり、作品を返却するタイミングで渡す予定である。
- 委員：記念クリアファイルの表面について、上部 1/3 程度は透明にし、書類の見出しが分かるようにしたほうがよい。
- 委員長：委員の提言に沿ってデザインを考えてほしい。

#### (4)その他

- 事務局：令和8年5月31日付で全委員の任期が終わる。皆さまには、6月1日から再度2年の任期で久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会の委員に就任いただきたい。
- 委員長：状況が変わる場合もあるだろうが、現時点では現委員が再任する方向でご協力をお願いしたい。
- 全委員：承知した。
- 事務局：本日配布したチラシについて、この度文化課では、四郷地区と富田・富洲原地区の2地区の文化財を学ぶことができる文化財デジタルマップを開発した。これを活用して文化財を知ってもらい、魅力を発信していきたい。
- 委員：こういったチラシにも、久留倍官衙遺跡公園の SNS を掲載して情報を発信してけるとよい。
- 委員長：QRコードを活用し、様々な情報へアクセスできるようになるとよい。
- 委員：文化財デジタルマップは、今後他の地区を追加するのか。
- 事務局：市内の中世城館を文化財デジタルマップで紹介することを検討している。
- 四郷地区、富田・富洲原地区は、令和5年度に作成した「四日市市文化財保存活用

地域計画」で重点的に文化財の保存・活用に取り組む区域として設定しており、進めているところである。当計画において久留倍官衙遺跡は関連文化財群「古代史の舞台 久留倍官衙遺跡と朝明郡」に位置づけており、今後この内容に合わせて展開していけると考えている。

委員長：旧四郷村役場は有名であり、中世城館も人気があるため、よいと思う。

(5)閉会

事務局：これにて、本日の議題および令和7年度第2回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会を終了する。

以上